






種別	議長	事務局長	課長級	課長補佐級	係長級	主任	係	
第種								

様式第7号(第6条関係)

平成30年4月25日

美作市議会議長 鈴木悦子様

会派名 英風会

経理責任者氏名 青山慶

平成29年度政務活動費収支報告書について

美作市議会政務活動費の交付に関する条例(平成18年美作市条例第18号)第7条第1項の規定により、別紙のとおり、平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成29年度政務活動費収支報告書

会派名 英風会

1 収入

政務活動費 330,000 円

2 支出

項目	金額	備考
研究研修費	92,680	
調査旅費	105,056	
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
人件費		
事務所費		
その他経費	31,480	
合計	229,216	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記入のこと。

3 残金

100,784 円



(様式第1号)

政務活動記録

会派 (英風会)

活動年月日	平成30年3月26日 ~ 平成30年3月27日
場所	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
相手方(対象者)	樋渡啓祐 元佐賀県武雄市長
活動議員氏名	青山 慶
目的・内容 結果等	今後の議員活動向上のため、次の4つの講座を受講した ・行財政改革の手法 ・人口減少時代の自治体経営 ・公共施設のこれから ・目立つ自治体になるために議員ができること

上記活動に要した経費		
支出費目	内容	金額(円)
参加費	受講料(1講座15,000円×4講座)	60,000
交通費	航空費	32,680
タクシー代		
宿泊費		
合 計		92,680

添付書類 ※様式第10号(領収書貼付)

※様式第13号(他会派と合同で活動し、按分した経費がある場合)

※様式第14号(使途項目別集計表)

※資料等

(様式第10号)

領収書用貼付用紙

(記載事項が重ならないよう貼付)

会派 (英風会)

領 収 証

英風会 様

30 年 3 月 26 日

★ ￥60,000

但 3/26~3/27

「地方創生のためにいま議員ができること in東京」
4講座 研修会受講代として

上記正に領収いたしました



一般社団法人地方議員研
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297

領収書

英風会

様

金額 **¥32,680-** (税込)
クレジット支払い JCBカード

航空券番号 1010194279812012 1010194279812023



照会番号 P7XV5M

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2018年03月08日(木)

上記、正に領収いたしました。

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。


ANA A STAR ALLIANCE MEMBER 
 全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co.,Ltd.

航空券明細

ご搭乗者名/照会番号

アオヤマ ケイ様 (P7XV5M)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額(税込)	運賃適用基準日
2018年03月26日(月)	ANA660	岡山 - 東京(羽田)	普通席	特割1I	¥17,090-	2018年03月08日(木)
2018年03月28日(水)	ANA651	東京(羽田) - 岡山	普通席	特割1K	¥15,590-	2018年03月08日(木)
合計金額					¥32,680-	

地方議員研究会セミナー報告書

期 日：平成30年3月26日（月）～27日（火）
場 所：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター
講 師：樋渡啓祐（元佐賀県武雄市市長）
研修目的：今後の議員活動向上のため

※著作権が樋渡氏に帰属するため、セミナーの内容は詳細に記載せず、主に感じたことを記述する。

・行財政改革の手法

歳入確保の取り組み→遊休財産等の売却、ふるさと納税による収入増

歳出抑制の取り組み→人件費削減、行政経費の削減、補助金の抑制

その他→企業/学校誘致、支所の空きスペース活用、指定管理の導入

将来の課題→社会保障費の増加、公共施設の維持管理/更新、行政組織のスリム化、事務組合等に対する負担金の増加

課題への対応策→組織のスリム化、行政サービスの最適化、公営企業/特別会計等の経営健全化

・人口減少時代の自治体経営

人口減少のメリット

過密解消、資源枯渇、失業率低下

人口減少のデメリット

労働力不足、税収不足、国内需要不足

人口が減ってもやっつけられる自治体

人口減少→高齢者減少→福祉予算減少→子育て予算増加

→新たなまちづくり、税収アップ、産業政策、まちづくり政策

この流れを理解して、仕組みを構築できた自治体は必ず生き残る。

・公共施設のこれから

施設総量の最適化

施設更新延期（長寿命化）。例として水道管。専門家のチェックにより更新延期することにより経費圧縮ができる。

特別委員会の設置。

指定管理者制度の活用。

- ・目立つ自治体になるために議員ができること

美作市ホームページは知りたい情報のありかが分かりにくい。

広報誌、告知放送で周知していても、情報が伝わりきらない。

市民側も、行政からの情報を普段から意識していない。

情報の分かりやすさを高めるとともに、市民に、行政からの情報を普段から意識してもらえるような取り組みが必要ではないか。

SNS等を活用すれば、双方向にコミュニケーションがとれ、伝播性も高い。

ただし、アカウントを持ってない人には伝わらない。

みまさかOnlineアプリは双方向でないが、SNSより汎用性が高い。

SNSとアプリを組み合わせ、より効果的に使える可能性。

SNS、アプリを使いこなせる市民を増やす必要もある。(講習会の開催等)

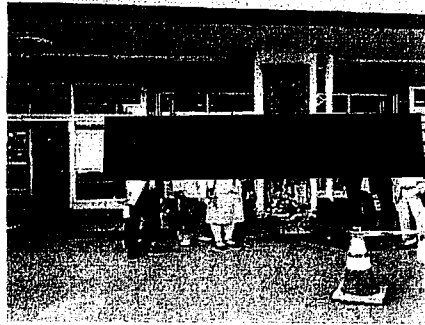
2017・8・21～23網走市支援学校、北海道メディカルスポーツ専門学校視察記録



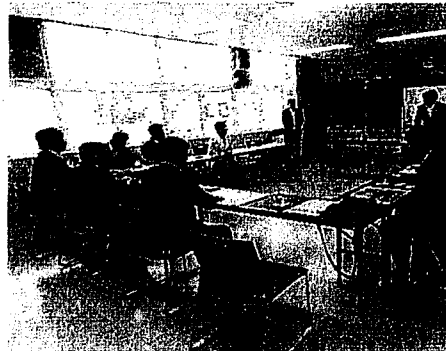
市役所内にて研修



市役所内にて研修中(岩永部長より)



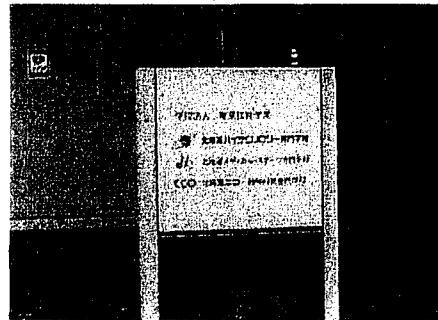
市役所前にて



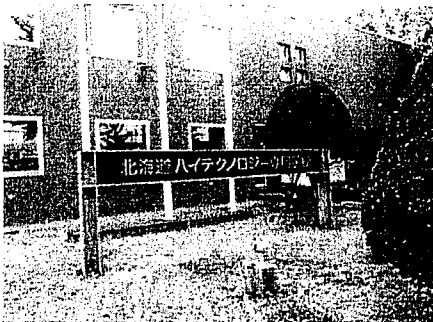
支援学校での研修



日体大網走支援学校正面



北海道メディカルスポーツ専門学校



同専門学校

(様式第14号)

使途項目別集計表

会派 (英風会)

※該当する使途項目に○

研究研修費 調査旅費 広報費 広聴費 その他経費

月日	内容等	金額 (円)
平成29年8月21日 ~23日	支援学校等視察	105,056
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
合計		105,056

(様式第1号)

政務活動記録

会派 (英風会)

活動年月日	平成29年8月21日 ~ 平成29年8月23日
場所	網走市役所、日体大付属高等支援学校、メディカル・スポーツ専門学校
相手方 (対象者)	岩永企画振興部長、 XXXXXXXXXX 、 XXXXXXXXXX
活動議員氏名	鈴木悦子、内海健次、日笠一成、尾高誉久、山本雅彦、和田広宣、安藤功、青山慶
目的・内容 結果等	美作市が取り組んでいる「日本体育大学と連携した特別支援学校の整備」ならびに、平成30年4月開校の「美作市スポーツ医療看護専門学校」についての調査、研究。

上記活動に要した経費		
支出費目	内容	金額 (円)
研修旅費	送迎用貸切バス料金 (高速料金・税込)	15,000
研修旅費	航空費	57,710
研修旅費	レンタカー料金 (3日間)	8,460
研修旅費	旅行障害保険	300
研修旅費	ガソリン代 4,529円×1/8	566
タクシー代		
宿泊費	ドリーミン網走、アパホテル札幌駅南	23,020
合 計		105,056

添付書類 ※様式第10号 (領収書貼付)

※様式第13号 (他会派と合同で活動し、按分した経費がある場合)

※様式第14号 (使途項目別集計表)

※資料等

請 求 書

2017年8月28日 発行

団体名 **美作市議会・英風会** 様

岡山県美作市小野2382-5

利用日 8/21~23 今度は

株式会社

誠にありがとうございます。

代表取締役

つきましては、下記の通りご請求申し上げます。

TEL 086

お振込先 中国銀行 林野支店 (普) 1428371

FAX 086

JA勝英 作東支店 (普) 0010091

トマト銀行 林野支店 (普) 5684811

社長印	担当印

8 月 28 日

項 目	単 価	数 量	金 額(円)
送迎用貸切バス料金 (高速料金・税込)	15,000	1	15,000
航空券	57,710	1	57,710
レンタカー料金 (3日間)	8,460	1	8,460
宿泊料金 (ドーミーイン網走)	11,150	1	11,150
宿泊料金 (アパホテル札幌駅南)	11,870	1	11,870
旅行傷害保険	300	1	300
合 計			104,490

(様式第10号)

領収書用貼付用紙

(記載事項が重ならないよう貼付)

会派 (英風会)

領 収 証

No. _____

英風会様

29年10月20日

金額	¥104,490.-
----	------------

・現金

・小切手

0振込

但し 視察研修旅費として
上記の金額正に領収いたしました

収入印紙



内訳

税抜金額

消費税額等 (%)

株式会社

〒709-4203

香

882-5
7430
7431

振 込



(様式第13号)

他会派と按分した経費（研究研修費／調査旅費／要請、陳情活動）

活動年月日	平成29年8月21日 ～ 平成29年8月23日
場所	網走市役所、日体大付属高等支援学校、メディカル・スポーツ専門学校
相手方（対象者）	岩永企画振興部長、 XXXXXXXXXX 事務局長
活動した 会派と人数	会派（ 清新会 ） 人数（ 1 ）名
	会派（ 松樹千年翠の会 ） 人数（ 1 ）名
	会派（ 緑政会 ） 人数（ 1 ）名
	会派（ 公明党美作市議団 ） 人数（ 2 ）名
	会派（ 風の会 ） 人数（ 1 ）名
	会派（ 功和会 ） 人数（ 1 ）名
	会派（ 英風会 ） 人数（ 1 ）名
	合計 ①（ 8 ）名

上記活動に要した経費		
支出費目	内容	金額（円）
研修旅費	ガソリン代	4,529
	合計	② 4,529

一人当たりの活動経費（② ÷ ①）	③ 566 円
-------------------	---------

会派ごとの活動費		
会派（ 清新会 ）	（③ × 活動した人数）	566 円
会派（ 松樹千年翠の会 ）	（③ × 活動した人数）	566 円
会派（ 緑政会 ）	（③ × 活動した人数）	566 円
会派（ 公明党美作市議団 ）	（③ × 活動した人数）	1,132 円
会派（ 風の会 ）	（③ × 活動した人数）	566 円
会派（ 功和会 ）	（③ × 活動した人数）	566 円
会派（ 英風会 ）	（③ × 活動した人数）	566 円

(様式第10号)

領収書用貼付用紙

(記載事項が重ならないよう貼付)

会派 (英風会)



(有) マルカ桜原商店
セルフ女満別空港
北海道網走郡
大空町女満別中央260-14
TEL:0152-74-3545 SS:18043-11665

ENEOS

領収書

2017年08月22日 13:03 伝票No. 2163
取引通番 3694

530-11665-0000-0006 * 18043
現金

0120-00 7546
レギュラーガソリン P08 ¥1438
数量 11.60L
単価 @124

合計 ¥1,438
(内税分消費税 ¥107)
お預り ¥2,000
お釣り ¥562

4:0000000-0:0000000 03

処理日付: 2017/08/22 7546-7546
100取引
領収書にかえさせていただきます。

キャンペーン期間: 7/21~8/31
10万Pontaポイントが
抽選で当たる!
ポイント2倍キャンペーン実施中!
<むしろはこちら>

納品書(領収書)

2017年08月23日 14:21

売上
現金フリー 様 M
6-111111-49997-000
現金フリー
実車番 6825
0026-00
レギュラー P10 ¥3,091
数量 24.73L(個) *
単価 @125
(内消費税 @53.80 ¥1,330)

合計 ¥3,091
(内消費税等(8.00%) ¥229)

オリックス自動車
レンタカーステーション千歳
北海道 千歳市
美々758-171
TEL:0123-22-0543 SS-111111
サイトNo 0907-17 データNo9122-9122
0001ORIX 2017/08/23

レニターカリニイ

4,529円

4,529円 ÷ 8 = 566円

美作市議会 7 会派視察研修報告書

報告者 英風会 青山 慶

期 日：平成 29 年 8 月 21 日（月）～23 日（水）

視察場所：北海道網走市役所（北海道網走市南 6 条東 4 丁目）

日本体育大学付属高等支援学校（北海道網走市大曲 1 丁目 6 番 1 号）

北海道メディカル・スポーツ専門学校（北海道恵庭市恵み野北 2 丁目 12-4）

参加会派：清新会（鈴木悦子） 松樹千年翠の会（内海健次） 緑政会（日笠一成）

風の会（尾高誉久） 公明党美作市議団（山本雅彦 和田広宣）

功和会（安藤 功） 英風会（青山 慶）

研修目的：美作市が取り組んでいる「日本体育大学と連携した特別支援学校の整備」並びに、来年 4 月開校の「美作市スポーツ医療看護専門学校」について調査研究するため

【網走市役所】

説明者：網走市企画振興部長 岩永雅浩 氏

○誘致から開校への主な流れ

平成 24 年 10 月 旧北海道高等技術専門学院を候補地として日体大に提案
（理事長、常務による学校施設、スポーツ施設等の視察）

11 月 準備委員会設置
（許認可権を持つ北海道からの情報収集開始）

12 月 日体大理事・評議会で網走市での創設を検討することを決定

平成 25 年 2 月 日体大理事・評議会で網走市での創設計画を決定

4 月 日体大特別支援学校設立準備室開設

12 月 北海道、国からの用地・施設の取得

平成 27 年 3 月 市有財産の無償譲渡

4 月 北海道へ「認可計画書」提出（6 月了承通知受領）

平成 28 年 4 月 北海道へ「認可申請書」提出
7 月 北海道私学審議会による認可後、生徒募集開始
平成 29 年 4 月 開校

○誘致の決め手

- ・東京農業大学オホーツクキャンパス（平成元年開校）の成功事例
定員を超える入学生のある東京農大（在籍者 1700 名）は、市民がささえてきたところが大きく、そのような市民と大学とのかかわりを高く評価された。
- ・充実したスポーツ施設
網走市はスポーツ合宿誘致に 30 年の実績があり、スポーツ施設が充実している。日体大附属高等支援学校はスポーツを教育課程の柱の一つに掲げており、網走市の充実したスポーツ施設の環境を高く評価された。
- ・充実した医療機関
市内には脳神経外科病院や総合病院のほか、胃腸科、アレルギー科、麻酔科、精神・神経科に対応できる医療施設がある。特に、精神・神経科に対応できる医療環境を高く評価された。
- ・共存社会に対する市民の高い見識
市内には養護学校や精神科の入所施設があり、普段の生活の中でかかわりを持っているが、特別な意識をもって接することはなく、共存社会に対する市民の高い見識を高く評価された。都市部では迷惑施設としてとらえられることもあるが、網走市ではそのような感覚はなく、逆に歓迎されている現実を日体大側は大変喜んでい

○誘致から開校までの支援

平成 25 年度

北海道所有の旧北海道高等技術専門学院の敷地並びに建物取得

グランド基準面積確保のため国有地取得

平成 25 年度～26 年度

市有財産移転に伴う代替用地・施設の取得改修関係

平成 28 年度

屋内直線走路建屋整備 1/2 地方創生拠点整備交付金充当)

施設整備事業補助金 ふるさと寄付金充当 機械・備品等購入)

※ソフト分を含めた誘致支援事業費合計

○今後の支援（平成 29 年度予算額）

- ・入学支援事業補助 [redacted] …10 カ年継続事業
入学決定時に納付する費用の一部を保護者等に給付
- ・運営費補助 [redacted] …2 カ年事業
私学助成補助金が適用されない 2 カ年の経営健全化への支援
- ・施設整備事業補助 [redacted]（車両・農機具・部活備品等整備費）
施設整備、教育活動、市民交流活動に関する経費の一部を支援
- ・開校記念事業 [redacted]（集団行動演技会他）

※事業費全額ふるさと寄付金を充当している [redacted]

上記支援事業のうち施設整備事業補助については、ふるさと寄付金のうち特に当該支援学校を指定したものを充当している。

※開校までの網走市の支援額は北海道、国から取得した用地、建物並びに市有物件の無償譲渡が主なものであり、上記のとおり [redacted] である。

また、今後の支援についてもふるさと寄付金の使途に反しない範囲での対応となっているため、特に議会並びに市民からの批判は無いとのことである。

○北海道との連携

網走市の私学の支援学校誘致に対し、私学の設置認可等の許認可権限を持つ北海道庁は、道有財産の移譲や設置計画提出前の施設整備事前着工の内諾など全面的にバックアップをした模様である。

○総合戦略での位置付け

東京農業大学や日本体育大学附属高等支援学校と連携しながら、地域の教育力を強化し、豊かな人材を創出するとともに、障がい者スポーツへの理解を深め、障がい者や高齢者にとって優しいまちづくりと、スポーツ振興による市民の健康増進を目指す。

【日本体育大学附属高等支援学校】

冒頭、[REDACTED]より支援学校の概要説明があり、その後施設見学を行った。

説明者：[REDACTED]

○学校が目指すもの

私学の支援学校として、いかに特色を持たすことができるかが求められている。

教育の3本柱

「スポーツ教育」…体育、部活動を通してたくましい体 健やかな心を育む

「労作教育」…作業学習、就労実習を通して働く事の楽しさ 尊さを培う

「情操教育」…芸術、ダンスなど様々な学習を通して豊かな感性を養う

スポーツ教育で培う健全な心身、労作教育を通して学ぶ働く意義、情操教育で養う豊かな感性、この3つの素養を習得することにより、生徒の個性がいつそう輝き、自立した未来が開けてくるものと考えている。

校舎隣の寄宿舎には市内からの通学者（2人）を除く17人が入寮しており、指導員19人が24時間体制でサポートしている。身の回りの生活は基本的に生徒自らが行うとともに、仲間との絆を築く生活の場としてコミュニケーション能力を養い、社会参加するための基礎を身につける場となっている。

当校として今後取り組んでいかなければならないことは、生徒たちが卒業後にいかに就職し自立することができるかであると考えている。そのため、学校法人日本体育大学の支援のもと全国規模で協力企業を募集し、親元での就職が可能となるよう体制を構築するとともに、日本体育大学への進学も視野に入れた指導を行っていききたい。

また、地域にいかに溶け込むかも重要であり、地域との交流活動も積極的に取り組んでおり、今後さらなる活動に取り組んでまいりたい。

○生徒数

本年度の入学生は40人定員に対し19人と定員割れとなったが、このことはある程度想定内であった。

北海道庁の学校設置認定後（7月）でないと生徒募集ができないため、どうしても周知が遅れてしまい進路先を決定している場合が多い。

しかし、今年のオープンスクール（8月26日）には家族を含め200人の申し込みがあり、来年度入学生は確保できる見通しとなっている。

※美作市が考えている手法（公設公営による日本体育大学との連携）であれば、日本体育大学との協議も当然必要であるが、岡山県教育委員会と綿密な協議を行い早急に協力体制を構築することが必要ではないかとのアドバイスを頂いた。

【北海道メディカル・スポーツ専門学校】

北海道メディカル・スポーツ専門学校は平成 25 年北海道ハイテクノロジー専門学校から分離独立し、スキージャンプのメダリスト ████████ 氏を副校長に招聘し開校した。運営は滋慶学園グループの学校法人「産業技術学園」所在地は北海道恵庭市恵み野北 2 丁目

説明者： ████████ 氏

○学校の沿革

昭和 62 年 北海道ハイテクノロジー専門学校設置を北海道知事に申請

昭和 63 年 北海道ハイテクノロジー専門学校開校

平成 15 年 北海道エコ・コミュニケーション専門学校独立開校

平成 25 年 スポーツ学科、柔道整復師学科、鍼灸学科を移管し

「北海道メディカル・スポーツ専門学校」を開校

※「北海道メディカル・スポーツ専門学校」の分離独立は、受験者に学科のイメージを明確に持たすため行ったとのことである。また、柔道整復師については北海道内で飽和状態であり、厳しい状況となっているが、国家試験の高い合格率を維持することで乗り切りたい。ただし、時代の背景等先見の目を持って定員数の変更など柔軟に対応していきたいとのことであった。

○学科

スポーツ学科 定員 50 名 (2 年制)

柔道整復師学科 定員 60 名 (3 年制)

鍼灸学科 (昼間部・夜間部) 定員 30 名 (3 年制)

※鍼灸学科夜間部については廃止の予定

(様式第1号)

政務活動記録

会派 (英風会)

活動年月日	平成29年7月4日 ~ 平成29年7月5日
場所	ラグビーワールドカップ組織委員会、防衛省、陸上自衛隊体育学校
相手方 (対象者)	衆議院議員 [REDACTED]、防衛省高橋憲一氏、体育学校広報班 [REDACTED]
活動議員氏名	鈴木悦子、内海健次、日笠一成、中山忠明、安藤功、青山慶
目的・内容 結果等	・ラグビーワールドカップ2019キャンプ誘致取り組みについてのお力添え ・自衛隊体育学校視察

上記活動に要した経費		
支出費目	内容	金額 (円)
研修旅費	航空費	31,480
タクシー代		
宿泊費		
	合計	31,480

添付書類 ※様式第10号 (領収書貼付)

※様式第13号 (他会派と合同で活動し、按分した経費がある場合)

※様式第14号 (使途項目別集計表)

※資料等

領収書

英風会

様

金額 **¥16,190-** (税込)
クレジット支払い JCBカード

航空券番号 1010167080820015


照会番号 J6SYQJ

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2017年06月30日(金)

上記、正に領収いたしました。

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

ANA A STAR ALLIANCE MEMBER 

全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co., Ltd.

航空券明細

ご搭乗者名/照会番号

アオヤマ ケイ様 (J6SYQJ)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額(税込)	運賃適用基準日
2017年07月03日(月)	ANA654	岡山 - 東京(羽田)	普通席	特割1J	¥16,190-	2017年06月30日(金)

合計金額

¥16,190-

領収書

WEB 23bf661019-00000-192958-0-1000

表示日 2018年03月08日(木)

英風会

様

金額 **¥15,290-** (税込)
クレジット支払い JCBカード

航空券番号 1010167080689012

照会番号 K6VHTS

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2017年06月30日(金)

上記、正に領収いたしました。

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

ANA A STAR ALLIANCE MEMBER

全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co., Ltd.

航空券明細

WEB 23bf661019-00000-192958-0-1000

表示日 2018年03月08日(木)

ご搭乗者名/照会番号

アオヤマ ケイ様 (K6VHTS)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額(税込)	運賃適用基準日
2017年07月06日(木)	ANA651	東京(羽田) - 岡山	普通席	特割1K	¥15,290-	2017年06月30日(金)

合計金額

¥15,290-

美作市議会 6 会派視察研修報告書

報告者 英風会 青山 慶

期 日：平成 29 年 7 月 4 日（火）～5 日（水）

視察場所：陸上自衛隊体育学校 ラグビーワールドカップ組織委員会
衆議院第一議員会館 防衛省

参加会派：英風会（青山 慶） 爽風会（中山忠明） 功和会（安藤 功）
緑政会（日笠一成） 松樹千年翠の会（内海健次） 清新会（鈴木悦子）

研修目的：美作市が取り組んでいる「ラグビーワールドカップキャンプ誘致事業」並び
に「自衛隊体育学校誘致事業」について調査研究するため

【ラグビーワールドカップキャンプ誘致事業関係】

7 月 5 日

・ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会並びに秩父宮ラグビー場視察

◎組織委員会の [] からキャンプ候補地選定についての状況等について説明を受けるとともに、秩父宮ラグビー場を案内していただき公認キャンプ地ガイドラインに沿ったキャンプ施設としての必要事項等について意見交換を行った。組織委員会の見解としては、美作市の施設は十分キャンプ地としての機能は有しているとのことであったが、選定されるか否かは大会出場国の実地視察後に決定され、試合会場との位置関係が大きく影響するとのことであった。

なお、公認チームキャンプ地選定プロセスへの応募自治体は 90 自治体 76 件となっている。 10：50～11：50

・衆議院議員 [] 秘書対応 13：20～13：40

・衆議院議員 [] 13：45～13：50

・衆議院議員 [] 秘書対応 13：55～14：00

◎美作市が行っているラグビーワールドカップキャンプ誘致事業の取り組みについて説明し、お力添えをお願いした。

【自衛隊体育学校誘致事業関係】

7月4日

- ・陸上自衛隊体育学校（東京都練馬区大泉学園町 駐屯地内）視察
体育学校概要…設立 昭和36年（陸上・海上・航空自衛隊共同機関）
目的 体育指導者並びに選手の育成
職員数 122名
選手数 第1教育課300名 第2教育課215名（H26）

◎自衛隊体育学校広報班の [REDACTED] の案内で学校内施設の視察を行うとともに、施設の現状や課題について意見交換を行った。なお、施設視察中に8月21日からの陸上班競歩競技の美作合宿が決定した旨の情報が入り、たまたま、トレーニング中の [REDACTED] と面談でき「是非とも美作市を訪れたい。楽しみにしている。」との話をいただき、当方としても市を挙げて歓迎したい旨を伝えた。

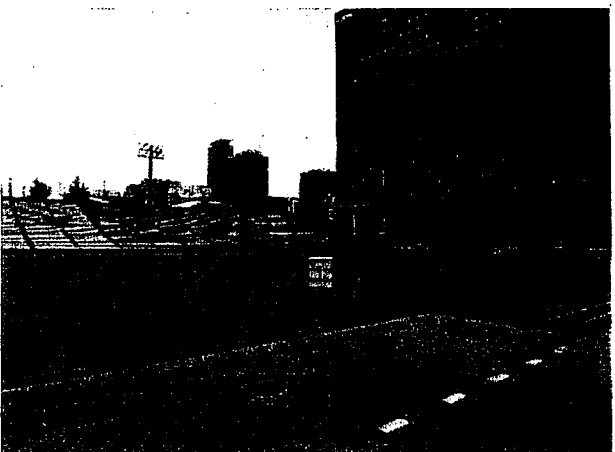
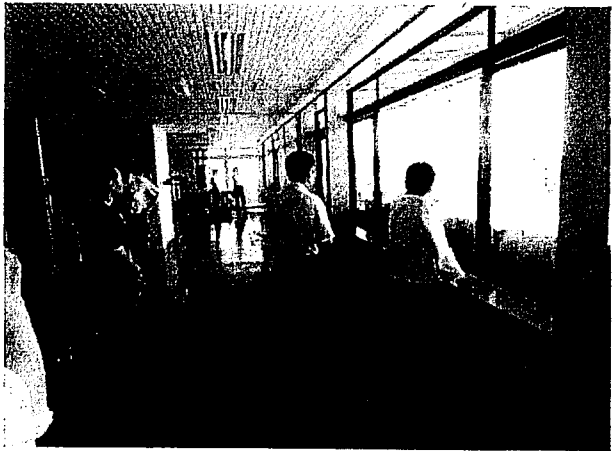
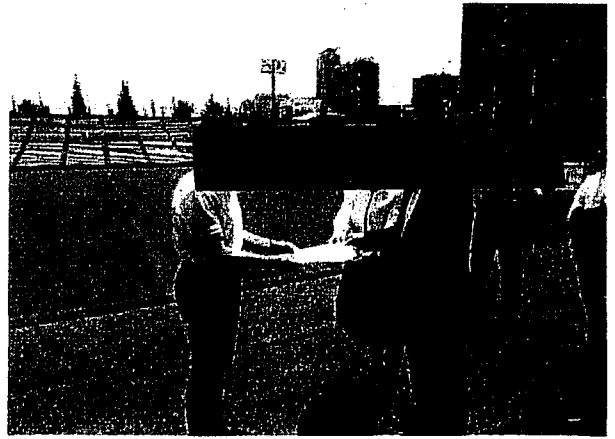
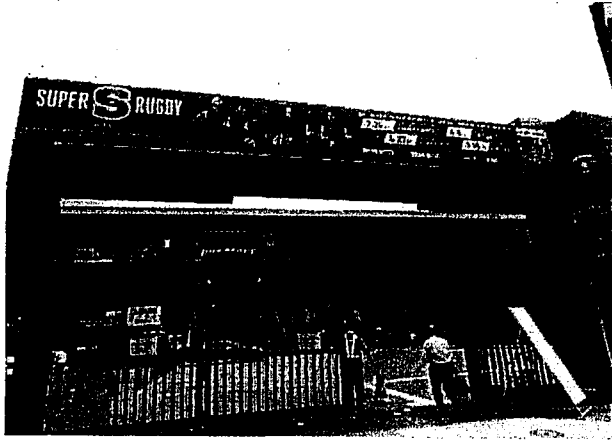
14:00~16:00

7月5日

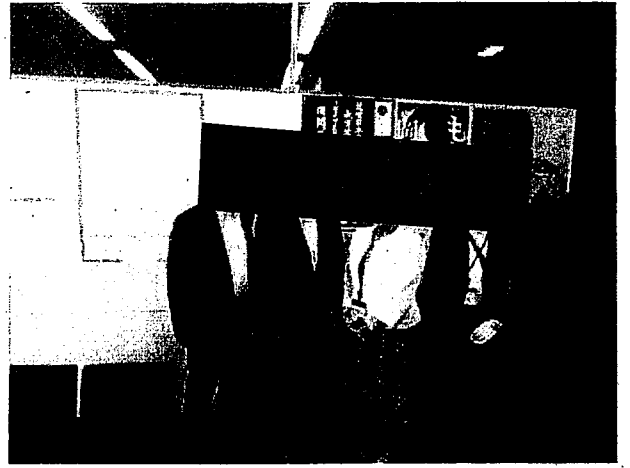
- ・防衛省 鈴木人事教育局長面談 14:30~14:50
- ・防衛省 高橋整備計画局長面談 14:50~15:10

◎防衛省人事教育局人材育成課の有田総括班長の案内で鈴木人事教育局長並びに高橋整備計画局長と面談し、自衛隊体育学校の施設移転について、意見交換を行った。「東京オリンピックが終わるまで防衛省内部での表立っての協議の場は持てないが、現在行っている各競技の合宿を継続し、美作市との関係は保っていきたい。」旨の発言があった。体育学校誘致については非常に大きな案件であるが、可能性のある限り、地道な取り組みを継続していくことが必要である。

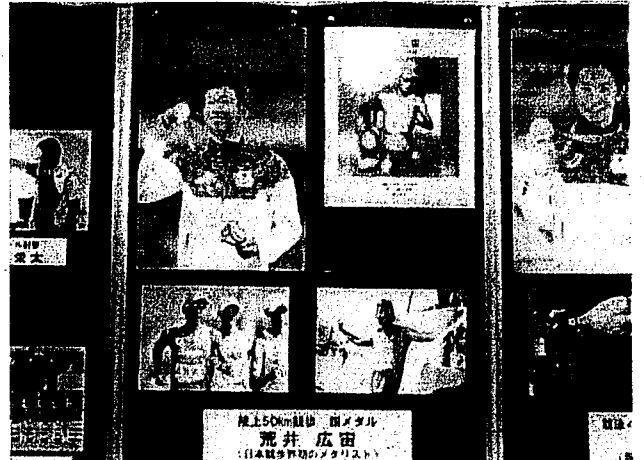
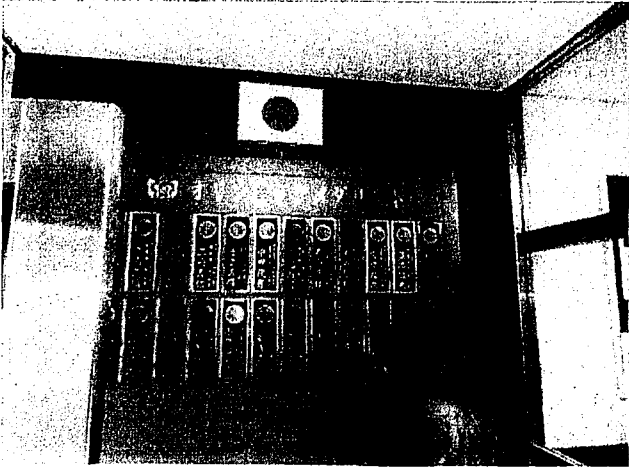
組織委員会



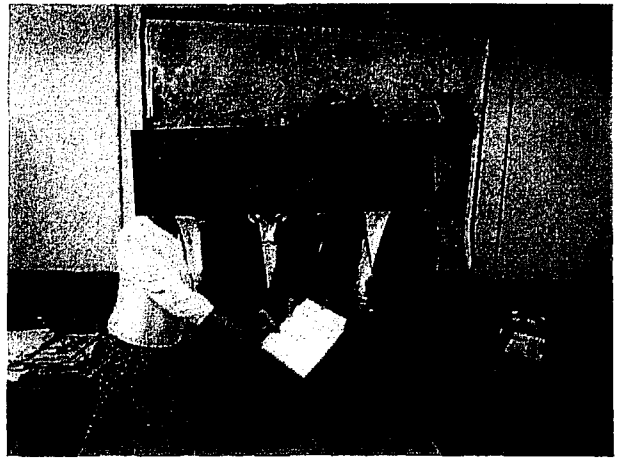
議員会館にて



体育学校にて



防衛省にて



(様式第14号)

使途項目別集計表

会派 (英風会)

※該当する使途項目に○

研究研修費 調査旅費 広報費 広聴費 その他経費

月日	内容等	金額 (円)
平成29年7月4日～5日	自衛隊体育学校、ラグビーワールドカップ合宿等誘致要望	31,480
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
—	合計	31,480